

編集後記

今回は、非開削手法とソーシャルコストの続きです。

外科医療の世界で、開腹手術に対し、患者の腹部に3～4カ所の小さな開口部を設け、腹腔鏡と手術器具を駆使して患部を切除する、いわゆる腹腔鏡手術は、患者に優しい外科手術と言われている。これと同じ言い方として、“道路を掘らない技”、非開削技術は、都市や環境に優しい技術と言える。

現在、医療の世界では、医師によるインフォームド・コンセントが当然視される。これは、医療行為実施者（医者）がその受け手側（患者）に対し、これから行う医療行為について患者に正しい情報を与え、合意を得た上で実施することだ。この正しい情報には、採用しようとする治療手法の内容はもちろん、その期待される治療効果、代替治療手法、成功率、費用、予後の予測まで含まれる。ここまで十分な説明を受けた後、患者として自らが望む治療方針を選択するのですから、患者もその家族も医者任せではなく、自分の問題として病気と向き合うことになる。そこで、例えば胃ガンの患者に対し、その病状により開腹手術と腹腔鏡手術が採用でき、同程度の治療効果が期待されるというのであれば、患者はふつう自らに優しい後者の手法を

選択するものだ。

この合意形成の仕組みを、今後、公共工事の執行の場にも適用すべきではないか。例えば、都市部の道路下に下水道管路を構築する際、開削手法と非開削手法どちらも採用できるとすれば、提示する情報は、各々の工事内容は当然として、それによる影響、効果など関連するすべての事項について含まれる。ここで、仮に、双方を金銭的に経済比較するのであれば、工事自体に要する直接的な工事費（内部費用）のみならず、工事が影響を及ぼす様々な事象に関する経費、損失（外部費用：ソーシャルコスト）を加味しなければならない。しかし、現状はどうか。公共工事の事前住民説明会での説明は、採用を決定した工事手法の内容と住民への協力依頼のみ。これで満足できるのか。

情報の受け手は、当然、関連する住民の方々になる。何故なら、公共工事で構築する下水道管路は、正しく住民の共有財源（税金）を使用し、住民自らが使用する公共財（社会資本）。公共工事に関するインフォームド・コンセントの対象は住民だ。

さて、工事に直接要する経費（内部費用）は、工事の設計・積算書で“円の単位”まで詳細に示される。また、工事を発注すればその契約書に

請負金額は明記される。問題は、工事に関連あるいは影響を受ける諸々の事象に係る経費（外部費用）の算定だ。まず、諸々の事象をどこまで採るか。これに関して、前号で、海外文献の事例として、開削工事による交通渋滞から歩行者の安全、営業損失、環境影響まで10を超える項目が列記されていた。私たちの生活実感では、多少、“風吹けば桶屋…”的な面があるような気もするが、言われてみれば“その通り”かもしれない。最大の問題は、その影響、損失を如何に金銭換算し、比較の対象とし得るかだ。外部費用、ソーシャルコストの算出に関しては、これまでも多くの事業者、研究機関が取り組み、いくつかの成果が公表されている。これも、海外文献によれば、外部費用は内部費用の3～4倍にもなる、と言われる。とは言うものの、現実的には桁違いかと思われる大きな損失額が示されても、説得力がなかった漠然としているだけだ。何よりも、その損失額を自らが被っているという実感が湧かない、これが最大ネックかもしれない。

それではどうするか。また、次回に続きます。

〈編集委員長 石川和秀〉



No.65 2008 Oct. 平成20年10月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会

発行所：日本非開削技術協会

〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

発行人：松井大悟

印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、巻末の振込み用紙で当協会まで直接お申し込み下さい。

○購読料（税込み）

1冊 1,500円（本体1,429円）〒400円

1ヵ年（4冊）6,000円（本体5,716円）〒1,600円

◇発行

年4冊：1・4・7・10月1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。媒体資料等お送り致します。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会で選考の上掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。